

5章. 未実施理由を加味した場合の実施率

QI の項目に示された診療が実施されなかった症例に関して任意の施設で未実施であった理由の集計と解析を行った（「各指標末頁を未実施理由」を参照）。これら施設は全参加施設のおおよそ 4 分の 1 程度であったが、これらの施設の QI の結果と全参加施設の結果の間では、さほど大きな違いを認めなかった。そのため、施設における未実施理由の内訳が全参加施設における未実施症例の理由の内訳とおおよそ類似するものと仮定して、妥当な未実施理由を加味した実施率を推計した。

表. 未実施理由の集計に参加した 70 施設と、全 297 施設の QI 実施率の比較

がん	QI	未実施理由の集計に参加した 70 施設		全参加施設 297 施設	
		患者数	実施率	患者数	実施率
大腸癌	pStageIII の大腸癌への術後化学療法(8 週以内)	2324	52.4%	9352	55.5%
肺癌	cStageI～II 非小細胞肺癌への手術切除または定位放射線治療の施行	4515	87.3%	18883	88.6%
	pStageII～IIIA 非小細胞肺癌への術後化学療法(プラチナ製剤を含む)	926	43.2%	3790	43.8%
乳癌	70 歳以下の乳房温存術後の放射線療法(術後 180 日以内)	2705	77.5%	10987	73.9%
	乳房切除後・再発ハイリスク(T3 以上 N0 を除く、または 4 個以上リンパ節転移)への放射線療法	310	36.1%	1227	36.9%
胃癌	pStageII～III 胃癌への S1 術後化学療法(術後 6 週間以内の退院例)	1221	62.7%	5286	66.9%
肝癌	初回肝切除例への ICG15 分の測定	773	93.4%	3245	92.3%
支持療法	嘔吐高リスクの抗がん剤への 3 剤による予防的制吐剤(セロトニン阻害剤、デキサメタゾン、アプレピタント)	10679	74.0%	44130	73.2%
	外来麻薬開始時の緩下剤処方	3187	64.4%	15386	64.2%

未実施理由を加味する際には、「患者の希望」「肝障害」「腎障害」「併存症」「合併症」「全身状態の低下」「転院」「院外処方」「算定漏れ」などを未実施理由として妥当なものとして実施率に反映させた。

一方、QI で指定されている期間内から外れて実施されたという報告や、臓器横断(制吐剤)の QI において、制吐剤を 3 剤ではなく 2 剤処方した、施設のガイドラインを使用した、といった報告は、妥当な理由とは言えないと考え、実施率に反映させなかった。また、未実施理由の中には「高齢」という記載が少なからず存在した。これが、全身状態などの他の理由がなく

単に年齢が高齢であったために未実施としたか、または高齢であるために全身状態が悪く認知機能の著しい低下があり、ガイドライン上の治療は適切ではないと判断されたという意味での「高齢」と記載したかが明確ではなかったが、多くの場合「全身状態の不良」とほぼ同義で使用されていたため「併存症等」の中に含んだ。

今回の理由の集計は各施設の自己申告に基づくものであり、例えば腎障害という理由にしても、腎機能がどの程度なのかということについては統一した基準を設けていない。これらは、今後施設内、施設間での具体的な検討を経てさらなる詳細を決定することが望ましい。また、理由を加味することで実施率の数値が大幅に変化（上昇）することに鑑みて、標準診療実施率のデータ上の数値のみを観察するのではなく、未実施の理由をその妥当性も含めて検証することが、改善と均てん化につながる重要な活動であると考えられる。

表. 未実施理由を加味させた場合の実施率の変化

		未実施理由の 加味なし	未実施理由の加味あり
		実施率	
QI	大腸癌	55.5%	94.4%
	肺癌（1）	88.6%	99.1%
	肺癌（2）	43.8%	92.3%
	乳癌（1）	73.9%	92.3%
	乳癌（2）	36.9%	71.1%
	胃癌	66.9%	97.5%
	肝癌	92.3%	95.3%
	臓器横断（制吐剤）	73.2%	76.2%
	臓器横断（麻薬）	64.2%	82.3%

6章. 今後の方向性

◆ QI の改訂・追加

各癌の診療ガイドラインの改訂に伴い、最新のエビデンスを反映した QI となるよう解析方法や QI 自体をアップデートする作業や、新たに測定可能と考えられる QI を追加することを検討する作業を行う必要がある。また、標準治療の確立後にその実施を検討する QI だけではなく、標準治療が確立する前の段階での実態を表す指標についても設定し、その現実を見ながら標準治療を探ることも必要になると考えられる。

◆ フィードバックシステムの継続的改善（未実施理由の入力をスコアに反映させる拡張）

施設毎の QI の計算結果は専用のホームページ上で返却し、匿名で施設間の比較も可能な形としている。また、同じホームページ上で各 QI の標準診療未実施症例の匿名 ID のリストの一覧を提示し、理由の入力も可能になっている。未実施理由の入力は、昨年よりも詳細な理由を設定した。さらに、入力の仕方に関する動画も作成し、必要に応じて視聴することが可能となっている。

未実施理由の入力は、各施設が各自で施設の診療行為を振り返り今後を活用していただくことを第一の目的としており、更なる作業の簡略化と効率化をして普及を目指すことも大切である。現在は Web 上に直接入力していただく形式を取っているが、定められた CSV に従って一括入力したものをアップロードすれば反映されるようにするなど、作業がより楽にできるようになるような工夫についての検討を重ねていく。

◆ データ活用委員会

参加施設にとって役に立つ解析を行うためには、今後どのような解析を行うべきか、そしてどのように結果をフィードバックするべきかなど検討するような体制が必要であると考えられる。現時点では、2次利用の可否についての限定的かつ少人数の検討会であるが、今後はそのあり方を考えるなどのより多岐にわたる検討が可能な体制も必要と考えられる。

◆ 次年の予定

2014 年症例については、2013 年と同様、全がんを対象としてデータを収集し、既に測定している既存の 51 項目の測定のほか、新規 QI と追加解析結果をフィードバックできるよう準備を進めている。

結語

本研究は3年目に入り、297施設（がん診療連携拠点病院の68%）からデータ提供を得て42項目のQIと9項目の実態指標についてがん医療の実態を検討した。こうして3年目も継続して測定を行うことができたのも、各施設の担当者の皆様の粘り強いご尽力のたまものである。この場を借りて厚く御礼を申し上げたい。

また、専門家パネルにより新しい項目の提案を頂き、新たに胃癌18項目、肺癌10項目、子宮頸癌14項目についても算定の試行とフィードバックを開始した。これらの部分はまだ試行段階と言うことで広く報告できる段階にはないが、今後計算方法を継続的に改善し、より均てん化に貢献できるように報告ができるものとする事を目指している。

本研究で構築している院内がん登録-DPCデータベースには様々な活用方法があるが、データ解析を通して医療の質向上のための各施設の取り組みを支援するためには、今後測定を継続するだけでなく、測定システム自体をより良いものへと改善し続ける必要がある。医療連携などが反映されない、患者の状態に関する情報に乏しいというDPCデータの限界もある中で、データの限界と特性を理解しつつ意味のある指標をエビデンスに基づき策定し、測定方法を工夫し続けることが、モニタリングの価値を高め、医療の質の向上へとつながっていくにちがいない。今後とも、全国の医療機関の皆様とともに、がん患者の受ける医療を少しでも向上させるためにQIを続けて行きたいと考えている。

研究参加施設一覧

北海道	札幌厚生病院	岩手県	岩手県立中部病院		
	手稲溪仁会病院		宮城県	みやぎ県南中核病院	
	市立釧路総合病院			宮城県立がんセンター	
	北海道がんセンター			東北労災病院	
	王子総合病院			東北薬科大学病院	
	日鋼記念病院			仙台医療センター	
	北見赤十字病院			石巻赤十字病院	
	函館五稜郭病院			大崎市民病院	
	旭川厚生病院			東北大学病院	
	帯広厚生病院			秋田県	秋田大学医学部附属病院
	KKR 札幌医療センター				秋田厚生医療センター
	旭川医科大学病院				秋田赤十字病院
	市立函館病院				大館市立総合病院
	北海道大学病院				市立秋田総合病院
青森県	十和田市立中央病院	山形県			山形県立中央病院
	青森県立中央病院		山形大学医学部附属病院		
岩手県	岩手県立胆沢病院		公立置賜総合病院		
	岩手県立釜石病院	福島県	太田西ノ内病院		
	岩手県立二戸病院		福島県立医科大学附属病院		
	岩手県立中央病院	福島県	いわき市立総合磐城共立病院		
	岩手県立久慈病院	茨城県	友愛記念病院		
	岩手医科大学附属病院		ひたちなか総合病院		
	岩手県立磐井病院		茨城県立中央病院		

茨城県	水戸医療センター		千葉労災病院
栃木県	那須赤十字病院	千葉県	亀田総合病院
	済生会宇都宮病院		船橋市立医療センター
	栃木県立がんセンター		成田赤十字病院
	自治医科大学附属病院		東京歯科大学市川総合病院
	上都賀総合病院		千葉大学医学部附属病院
	佐野厚生総合病院		国保旭中央病院
群馬県	公立富岡総合病院	東京都	がん研究会有明病院
	前橋赤十字病院		青梅市立総合病院
	高崎総合医療センター		災害医療センター
埼玉県	深谷赤十字病院		東京都立駒込病院
	自治医科大学附属さいたま医療センター		東京医科歯科大学 医学部附属病院
	戸田中央総合病院		順天堂大学医学部附属 順天堂医院
	済生会川口総合病院		日本赤十字社医療センター
	川口市立医療センター		聖路加国際病院
	春日部市立病院		東京医療センター
	さいたま赤十字病院		東京都立多摩総合医療センター
	埼玉医科大学国際医療センター		武蔵野赤十字病院
	獨協医科大学越谷病院		昭和大学病院
千葉県	順天堂大学医学部附属浦安病院		杏林大学医学部付属病院
	君津中央病院	東京慈恵会医科大学附属病院	
	千葉県がんセンター	東邦大学医療センター大森病院	

	国立がん研究センター中央病院		金沢医科大学病院
神奈川県	相模原協同病院	石川県	金沢医療センター
神奈川県	横浜市立大学附属病院		石川県立中央病院
	聖マリアンナ医科大学病院	福井県	福井県済生会病院
	横須賀共済病院		福井県立病院
	横浜市立市民病院		福井大学医学部附属病院
	済生会横浜市東部病院		福井赤十字病院
	東海大学医学部付属病院	山梨県	山梨県立中央病院
	大和市立病院		山梨大学医学部附属病院
	神奈川県立がんセンター	長野県	相澤病院
	横浜市立みなと赤十字病院		長野市民病院
	北里大学病院		信州大学医学部附属病院
	横浜労災病院		北信総合病院
新潟県	済生会新潟第二病院		伊那中央病院
	新潟県立がんセンター新潟病院		諏訪赤十字病院
	新潟大学医歯学総合病院		飯田市立病院
	長岡赤十字病院		長野赤十字病院
	新潟市民病院	佐久総合病院佐久医療センター	
富山県	高岡市民病院	岐阜県	岐阜県総合医療センター
	厚生連高岡病院		岐阜大学医学部附属病院
	市立砺波総合病院		岐阜県立多治見病院
	富山県立中央病院		岐阜市民病院

	高山赤十字病院		滋賀県立成人病センター
	大垣市民病院	京都府	京都大学医学部附属病院
静岡県	沼津市立病院		京都第一赤十字病院
	聖隷三方原病院		京都市立病院
静岡県	静岡県立総合病院	京都府	第二岡本総合病院
	浜松医科大学医学部附属病院		公立南丹病院
	聖隷浜松病院	京都第二赤十字病院	
	浜松医療センター	大阪府	大阪市立総合医療センター
	静岡県立静岡がんセンター		東大阪市立総合病院
	静岡市立静岡病院		八尾市立病院
	磐田市立総合病院		大阪府立成人病センター
愛知県	名古屋医療センター		大阪赤十字病院
	豊田厚生病院		市立岸和田市民病院
	藤田保健衛生大学病院		大阪医療センター
	中京病院	堺市立総合医療センター	
	名古屋掖済会病院	大阪市立大学医学部附属病院	
	豊橋市民病院	大阪大学医学部附属病院	
	名古屋大学医学部附属病院	市立豊中病院	
	海南病院	大阪医科大学附属病院	
	愛知県がんセンター中央病院	大阪府立急性期・ 総合医療センター	
滋賀県	大津赤十字病院	近畿大学医学部附属病院	
	市立長浜病院	兵庫県	兵庫県立がんセンター

	近畿中央病院		松江赤十字病院
	赤穂市民病院		島根大学医学部附属病院
	公立豊岡病院組合立豊岡病院		浜田医療センター
	西神戸医療センター		松江市立病院
	兵庫医科大学病院	岡山県	倉敷中央病院
	神戸医療センター		岡山医療センター
			岡山赤十字病院
兵庫県	姫路赤十字病院	岡山県	川崎医科大学附属病院
	神戸大学医学部附属病院		津山中央病院
	神戸市立医療センター 中央市民病院		岡山済生会総合病院
	兵庫県立淡路医療センター		岡山大学病院
奈良県	奈良県総合医療センター		金田病院
	市立奈良病院	広島県	福山市民病院
	奈良県立医科大学附属病院		市立三次中央病院
	呉医療センター・中国がんセンター		
	東広島医療センター		
			広島大学病院
和歌山県	和歌山県立医科大学附属病院		廣島総合病院
	日本赤十字社和歌山医療センター	山口県	徳山中央病院
	橋本市民病院		山口大学医学部附属病院
	南和歌山医療センター		下関市立市民病院
	公立那賀病院		山口赤十字病院
鳥取県	鳥取県立中央病院		
	鳥取大学医学部附属病院		
	米子医療センター		
島根県	島根県立中央病院		

	山口県立総合医療センター		九州がんセンター
	岩国医療センター		九州大学病院
	長門総合病院		九州病院
	周東総合病院		済生会福岡総合病院
徳島県	徳島大学病院	佐賀県	聖マリア病院
	徳島県立中央病院		公立八女総合病院
	徳島赤十字病院		久留米大学病院
	徳島市民病院		北九州市立医療センター
香川県	高松赤十字病院		九州医療センター
	香川大学医学部附属病院	佐賀県	佐賀県医療センター好生館
	香川労災病院		佐賀大学医学部附属病院
	香川県立中央病院		嬉野医療センター
	三豊総合病院		唐津赤十字病院
愛媛県	愛媛大学医学部附属病院	長崎県	日本赤十字社長崎原爆病院
	四国がんセンター		佐世保市立総合病院
	済生会今治病院		長崎みなとメディカルセンター 市民病院
	市立宇和島病院		長崎医療センター
	愛媛県立中央病院		長崎大学病院
高知県	高知大学医学部附属病院		長崎県島原病院
	高知赤十字病院	熊本県	熊本医療センター
	高知医療センター		熊本赤十字病院
			人吉医療センター
福岡県	大牟田市立病院		

	熊本市立熊本市民病院		川内市医師会立市民病院
大分県	別府医療センター	鹿児島県	今給黎総合病院
	大分県立病院		出水郡医師会広域医療センター
	中津市立中津市民病院		沖縄県
	済生会日田病院	ハートライフ病院	
	大分市医師会立アルメイダ病院	沖縄県	那覇市立病院
	大分大学医学部附属病院		中頭病院
	大分赤十字病院		豊見城中央病院
宮崎県	都城医療センター		沖縄県立中部病院
	宮崎大学医学部附属病院		琉球大学医学部附属病院

他 11 施設（施設名一覧に掲載されないことを希望した施設）

平成 29 年 06 月 15 日 第 1 刷発行（非売品）

編集：東尚弘、中村文明、岩本桃子、神谷諭、渡邊ともね、今埜薫

発行：都道府県がん診療連携拠点病院がん登録部会 Quality Indicator 研究・事務局

国立がん研究センターがん対策情報センターがん臨床情報部内

東京都中央区築地 5-1-1 Tel(03) 3542-2511 Fax(03)5565-2322

Email: hsr@ncc.go.jp